

① ふれあいセンター絆 第一回「歌声カフェ」が開催されました。

12月24日、ふれあいセンター 絆 サロン室で開催され、毘沙門台町内会の皆さん15名が参加され、ザ・ビシャモンズの軽妙なトークと生演奏によって、クリスマスソングや唱歌、懐かしの歌謡曲など20曲を楽しんでいただきました。ザ・ビシャモンズは、5年前から第二町内会で月2回歌声サロンを開催され、毎回会場に入りきれない超人気のサロンとなっています。

ふれあいセンター 絆の歌声カフェは、「笑いと歌」が高齢者の心身の活性化と疾病の予防効果に有効であることに着目し、かつ、ふれあい交流を促進するため終了後には全員が和やかにカフェも楽しまれ散会の際に、これから毎月開催をしてもらいたいとのご意見を多く頂きました。



② 安古市高校 生徒と「門松づくり」を行いました。

12/26日前日に用意した竹を活用し、経験豊富な住民3名が安古市高校の生徒に伝統的な「門松」の作り方を伝授し立派な門松が出来上がりました。

製作した3台は、毘沙門台小学校、ふれあいセンター 絆 に設置し迎春の準備が整いました。参加した安古市高校の生徒たちも初めての体験であり、悪戦苦闘の場面もありましたが後輩にも日本古来の伝統を継承をしてくれることを願っています。

なお、山からの竹の伐採には、安佐南区より助成を頂き購入した、「竹伐採用チェーンソー」が威力を発揮し、伐採の作業が効率よく行われました。



③ ふれあいセンター 絆 「大掃除」と「緊急避難訓練」を実施しました。

12月27日に諸団体長の皆さんに協力を頂き施設内外の大掃除と「緊急時避難訓練」を実施しました。7月より運用を開設した ふれあいセンター 絆 は、多世代の交流拠点として12月末までの6ヶ月のご利用者は、延べ人数で3000人を超える状況で推移しています。

